

1. まず、候補予定者ご自身についてお伺いいたします。

①なぜ、松戸市議会議員選挙に立候補されるのですか。

生まれ育った松戸市から(展望レストランや映画館、中央公園プール等)思い出の場所が次々と消えていく現状に納得がいかず、企業任せ、人任せにしている場合ではないと、20歳頃に市政の道を志し、ようやく被選挙権を得て初の市議選を迎えた為、出馬をしました。

②当選したら真っ先に取り組むことを教えてください。

思いばかりでは仕方がありません、まずは何も知らない一年生議員の私は現職の方々に追いつき追い抜けるように、市政の情報収集に努め、市議としての職務へ全力で挑みます。

また議場での活動とは異なりますが、松戸の魅力を引き出すための名産開発や、元々行っている愛猫との散歩を介した市民との触れ合いを続けていくつもりです。

③ 4年間の任期中に必ず実現させたいことを教えてください。

市民だけでなく他の市議の方達にこそ、私の目指す未来の松戸市を伝え、同意まで得られずとも、一つの理想として認めて貰う事です。質問に4年間の任期とありますが、現職市長の途中辞任がなければ、市議会議員3年目に30歳になり、市長選への被選挙権を得ますので、そちらへ出馬する事で、市議会議員としては自動失職となります。

④ 当選された場合、どちらの会派に所属するのか、または無所属で活動されるのか、意思をお聞かせください。

3年後に市長を目指すつもりですから、既存の会派には属しません。逆に私の掲げる目標に賛同して下さる方を募り、会派を作る事はあるかもしれません。なお、市長選出馬の際も既存政党や会派の協力は仰がないつもりです。

⑤ 市民の声に耳を傾け、市民に分かり易く説明し、市民の思いを実

現すべく行動する、というような「市民に寄り添う」という姿勢が重要だと考えております。より多くの「市民に寄り添う」ために、何か行動される予定があれば教えてください。

無礼で世間知らずな若造と激昂される事も多々ありますが、私は議員が「市民に寄り添う」姿勢(パフォーマンス)は必要ないと考えております。

まず私自身も市民であり、例え独り善がりな考えであろうとも、私自身が本気でしたいと思う事、成し遂げたいと思う目標へ、しっかり向かっていく事が最優先です。その目標を一緒に目指してくれる人達、私と言う人間を信頼してくれ全て任せてくれる人達に応援して貰うだけで十分だと思っています。

これは賛同者以外の否定するものではありません。

むしろ意見が違う方は無理に私の応援をしていただくより、反対の意見を持つ方の応援に回って貰うなり、自ら立ち上がって頂く方が松戸の未来をよりよくすると思うが故のポリシーです。

票を欲しいが故に八方美人にお為ごかしの言葉を使う政治家にはなりたくないのです。

⑥市議会議員に必要な能力はなんだと思いますか。それをこれからの活動にどう生かしていくかと併せてお答えください。

まず松戸最優先で議案の可否を判断出来る事だと思います。

世界は平和な方が良いに決まっていますし、私も一端の愛国心を持つ日本国民であるため国政に不満がないとは言いません。

ですが、松戸市議会議員になるなら、他のなにより松戸の事を最優先にしなければならないと思っています。

例えば政府与党にノーを叩きつける為や、国会への意見書を提出する為に、市議会議員を目指している方は素直に国会議員になった方が良いです。国会議員には成れそうにないけど松戸市議にはなれそうだから、等と言った半端な気持ちの方に松戸の行く末に関わって欲しくないというのが私の率直な意見です。

逆に国会が、松戸市議会の判断に上から駄目出しをしてきたらと考えれば解り易いと思います。

いくら地方自治法 99 条で、地方議会は国に対して意見書をあげられるとは言え、国会で決めようとした内容に、市政から待ったをか

けて多くの税金と時間を無駄にすべきではないと思っています。

松戸市議なら、国が敵に回ろうが、県が敵に回ろうが、自分の所属する政党・会派が難色を示そうが、個々が松戸の為になると思う判断をすべきです。

私は完全無所属かつ、市民の意見を八方美人に受け入れない事により、一人の松戸市議会議員として筋の通った判断をする事が出来ます。

2. 次に、議員観・議会観についてお伺いします。

①松戸市議会議員の適正人数は何人とお考えですか。理由と併せてお答えください。

松戸の人口などを考える限り市議は40～50名程度が妥当と考えており、現状の44名から特別増減する必要があるとは思っていません。

確かに給料などの経費を考えれば膨大な額となっている為、削減を考えるべきかもしれませんが、これ以上の議席の削減は少数派の意

見を完全に抹殺してしまい、組織票勝負の議会になってしまうと思っています。

②「議員報酬は議会での拘束時間等、議員活動を実際に行った時間×時給にしてはどうか」という議論がありますが、いかがお考えですか。

議論は時間をかければ言いと言う物ではありませんし、議員活動と言う物も時間で計れる物ではないと思っています。

何より、特定政党の支援を受けている訳でもなく、資産家でもない、私のような議員は副業でもせずには生活もままならなくなる可能性が十分にあります。実際なってみなければ計算しきれない部分も多々ありますが、副業をして企業や組織に属してしまえば、せっかく議員として無所属を貫いても意味がなくなります。

時給制で一概に安くなるとは言わないかもしれませんが、経費削減の為の議論だと思います。ですのでなってもいなくうちから報酬を安くしても良いかと言う質問ならば、これからの私の働きに対しての軽視に他ならないと思います。

議員として十分な働きをする事で、現状定められた議員報酬については当然頂くべきだと私は考えています。

③委員会前に会派で賛否を決めていることで、議会での議論が建前になっているように感じます。議会をより建設的な場にするため、委員会前に会派で賛否を決めることを止め、委員会での議論を基に会派の合意形成を図るようにして欲しいと考えております。如何ですか？

私は終始無所属なのでその方が望ましく思います。

ですが、そこまで求めてしまえば、会派を作る方々のメリットはほぼなくなってしまうと思います。現実的には質疑の時間なども限られるため、一定の解説と質問くらいはなされるでしょうが、全ての議案について44人の多数決を行うだけで、予測がつかずまとまりのない議会になってしまう事は避けられないと思います。

④建設的ではがらみのない議論を行うため、会派制を廃止する議会

も現れていますが、「会派制の廃止」について、いかがお考えですか。

やはりこの質問も同様に、終始無所属の私にはメリットしかない提案です。

⑤議案に対する個々の賛否について、記録に残す、または公開することへのお考えをお聞かせください。

記録を残す事は大事だと思いますが、安易に賛否だけで記録を残す事や一覧表の様に集計する事は、大きな誤解を招く事になると思っています。

例として『集団自衛権容認に反対する国会への意見書』に賛成か？
と言う質問があるとします。私はの回答は2択だと no ですが、『集団自衛権容認に賛成する国会への意見書』の場合でも no です。国政について口を出したい人間は市議を辞めて国会への行けが理念で

すのでこのような回答となります。

これを可否だけ見て集計してしまうと議案の内容によっては議員の判断に誤解が生じるため、単純な集計や一覧にする事は避けるべきだと考えています。

⑥委員会についても、本会議同様にインターネットおよび録画中継を行ったり、議会運営委員会を含むすべての委員会を傍聴可能にすることについて、是非をお聞かせください。

特別公開を控える必要はないと思いますので、単純にコストとの兼ね合いで安く済むなら中継等はすべきだと思っています。

⑦議員を客観的に評価するしくみについて、アイデアや先進事例があればお聞かせください。

誰が行うにせよ数十年後に振り返ってでもみなければ、議員を客観的に評価すると言うのは無理だと思っています。

むしろ他のどんな職業より、評価はシンプルに4年毎の選挙で下されるのではないのでしょうか？

3. 次に、市政をとりまく環境や個別の政策課題への考えをお伺いします。

①経済的・家庭的な理由等により、望んだ進学ができない子どもを減らし、平等にチャンスを与えられるような環境が求められていると考えますが、具体的な方策があればお聞かせください。

厳しいようですが、誰にしても経済・家庭的な事情による差はあるわけで、塾や習い事、私学や海外留学などは特別裕福な場合の選択肢でしかないと思っています。

義務教育や国公立の学校に進学できないレベルの場合は、入学試験の合格や留年しないと言った条件さえクリアすれば、家賃なども含め全面的に市や国でバックアップするのが当然であると考えております。

なお、私は日本人の苦学生が全て居なくなるまで、外国人留学生への補助金は支給すべきでないと考えております。どうしても必要であれば祖国が負担すべき物であり、日本に来たから日本が負担すると言うのは可笑しい話で、日本国の公金の使い道として、まずは自国民の救済を優先するのは当然の事だと考えております。

②児童・生徒の学習習熟度により教員を評価する制度を設け、意欲的な指導の一助とする策について、お考えをお聞かせください。

学習習熟度だけが教師の評価を決める基準であってはならないと私は思っております。確かに進学や就職において勉強が出来れば有利ですが、社会に出てから必要なのは、自分の人生の筋道を自分で選び取る力です。教師と言うのは多くの学生にとって家族以外で一番多く触れ合う社会人の見本だと思っています。進学だけでなく様々な人生の選択肢を示すことが出来るよう、外部における社会経験などを持った教員などを増やしていくのが真に必要な教育ではないかと思っています。

ただ、これらの理想は例え実現しても、数値などで表せるようなもの

のではなく、卒業生の満足度など曖昧な基準でしか評価がしようがないのがネックです。

③保育園を選ぶための客観的指標として、利用者・第三者評価の制度を設けることについて、お考えをお聞かせください。

一定の評価基準を設ける事はあっても良いと思いますが、保育園や保育士の数も十分と言いきれない現状、評価制度より先に質の向上も考えて、補助金の拡充や、保育士の待遇改善などを優先すべきであると考えております。

④より障害者が暮らしやすいまちを実現するため、提案される施策があれば教えてください。

一口に障害者と言っても各人それぞれに違った障害があり、また各人の求める物も違うため簡単に暮らしやすい設備や機器などをデザインする事は難しい物です。

ですが、駅の階段に駅員さんが待機していただける事で、車椅子を階段の上まで持ち上げたり、盲目の方を誘導したりと柔軟な対応をする事は可能です。市街地や交通量の多い交差点などにも、警備員や市の職員などを派遣する事で、設備などでは不可能な対応を行う事が可能だと思っています。もちろん、利用頻度なども考えると人員を配置できる程の効果を見込める場所は限られていると思いますが、マンパワーの活用は大事だと思っています。

⑤ノーマライゼーションについてお考えをお聞かせください。例を挙げると、色覚障害者にとっては赤色チョークの板書や、ピンク色の看板が見づらい等、聴覚障害者にとっては災害時避難所での情報提供が音声のみで行われるということに不便を感じる等、障害者本人でしか気づき得ない生活上の支障があります。

正直、個々の事例の触れ幅が大き過ぎるので、一般論を言う事は当然難しく、政治とは公共性をまず優先すべき部分も大きいため、効率を考えると改善しようがない部分が多いと思います。

重要なのは市として個別支援以上に、周りの健常者によるサポート

だと思います。赤色チョークが見辛い人も居れば、黄色が見辛い人も居ます。音が聞こえない人も居ます。でもそれが出来る人が、しっかり伝えてあげれば済む話ではないでしょうか？避難所など緊急を想定するとなかなか難しい部分もあるとは思いますが、避難訓練などを定期的に行いそういった特殊なケースも想定していくのが現実的なラインだと思います。

⑥松戸市は周辺市よりも生活保護受給者数・保護費ともに高い水準にあります。この水準についての是非と、今後の方針についてのお考えをお聞かせください。

不正受給や外国籍者への需給は全面カットすべきだと思っていますが、それ以外の部分に関しては正直、議員になってもいない私には判断するだけの情報を得ていません。元々生存権に関わるのが生活保護です。生死に関わる部分について、不正確な情報を是非を判断したり、方針などを述べる事は控えたいと思います。

⑦少子高齢化への対策として、提案される施策があれば教えてください。

さい。また「無駄を削減する」以外の財源確保についてもご提案ください。

すぐに結果が出るような物ではありませんが、若者や子供達が楽しめる街作りが大事だと思っています。

例え少子化が改善されたとしても、松戸と言う街に良い思い出がなければ、若者は大人になり次第、別の街へと移り住む事でしょう。

逆に一度遊びに来た人や子供が、この街で良い思い出を作る事が出来れば将来もこの街に住みたい、この街で子育てをしたいと考える事でしょう。

箱物と言うとすぐ無駄だと言う方々が居ますが、楽しみ、特に子供達の思い出になるようなイベントや、映画館、展望レストランと言った施設へお金をかける事は決して無駄な事だとは思っていませんし、必要な投資であると考えています。

一度、民間で破綻したものを市で経営するからにはリスクも高いですが、様々なアイデアを出し合い黒字にする事が出来れば同時に財源確保にも繋がる事でしょう。

⑧「すぐやる課」について、今後の方針と併せて、存続の是非をお答えください。

松戸市政の特徴とも呼べる部署ですから是非存続すべきと思います。ただ、ハチの駆除など、すぐやる課で即応できる事例などをもっと積極的に広報していくべきだと思っています。現状男女合わせて9名と言う規模に留めようとするより、広報の結果要望が継続的に増えるようであれば増員もすべきと思っています。

⑨市立病院の経営を改善するための方策があればご提案ください。

第二種感染症対策の拠点であり、経営が悪化したからと単純に経費を削って良い様な物とは違うと考えています。あと立替時には万全の地震対策などを行うべきだと考えています。万一の時に市立病院が機能するかどうか、多くの市民の命を左右します。

経営についてはまだまだ情報不足でありますので言及を控えさせて頂きたいと思っています。

⑩市内で起業家が活躍するための方策があればご提案ください。

松戸はラーメン屋さんの多い街として有名ですが、美容室などかなりの多さを誇っていると思います、逆に映画館など全くない物もあり業種が極端に偏っていると感じます。

ですので、特別多い業種にはコンテストや共同企画を提案する事で相乗効果を狙い、市民の要望なども踏まえ、必要性の高い業種には新規参入業者へ補助金を出すなど二極の施策を併用する事が望ましいと思っています。

⑪市内の商業圏の充実について、近隣自治体のように大型ショッピングモールを誘致するなどの大規模な方策を取るべきか、それとも他の方法によって充実を図るべきか、現状の維持を図るべきか、方策をご提案ください。

アクセスを考えるとやはり松戸駅周辺、時点で八柱、新松戸だと思われていますが、今更大型ショッピングモールを展開する余地は存在しないと思います。何よりダイエーなどのテナントの空き状況を見る限

り単純な商業施設はこれ以上作っても意味がないと思っています。
もし作るとしたら、映画館や中央公園の閉鎖などにより切実に足りなくなっている娯楽遊戯施設だと思います。ただし、これらは特別大きいものでなくともあくまで市民の憩いの場として、無くなったそれらと同程度の小規模な物でも構わないと思っています。

⑫松戸市に住民投票条例は必要だとお考えですか？理由も併せてお答えください。また、必要だとお考えの方は、具体的にどのような内容にすべきか、お聞かせください。

不要だと思います。

住民投票条例は簡単に言うと、市議や市長の存在意義を否定する物だと思います。

住民投票法案はその性質上、選挙自体のやり直しを図るリコールなどと異なり一つの議案などに対して行われる事が多くなると思いますが、市政の中での議案は一つだけで成り立っているような物はまれで、多くの議案が組み合わさってようやく市政を動かしていく歯車となります。個別で見れば正しい意見で一理あるかも知れませんが。

ですが大きな目を見た時に筋が通らなくなるそういった危険性を孕むのが住民投票法案だと私は危険視しています。

4. さいごに、松戸市についての思いをお伺いします。

①松戸市の一番の魅力はなんだと思いますか。

マンパワーだと思っています。自分も変わり者だとはよく言われますが、松戸縁の方は何処か不思議な魅力にあふれた人が多いと感じています。

②中長期的に見て、松戸市政における最も大きな課題はなんだと思いますか。解決策の提案と併せてお答えください。

他の質問でも何度か触れましたが、私は娯楽施設の欠如だと思っています。

住みやすい街とは良く言われますが、楽しい街、住みたい街であるかと言われると疑問が残るのが現状の松戸です。特に私にとっては

20年数前の方がよっぽども輝いていたように感じます。

今はもう回っていない伊勢丹横の展望レストランから、松戸の街並みを眺めた私は郷土愛を抱きました。松戸にあった二つの映画館で忘れられない大切な思い出を得ました。

でも今松戸に住む子供たちは、スカイツリーには登れても自分達が住む松戸街並みを眺めることは難しいんです。どんないい映画を見たにしても、別の街ので作った楽しい思い出に過ぎないのです。

楽しい街作りそれこそが、松戸の存亡に関わる最重要課題です。